

モーショングラフィック制作のコアツール Adobe Creative Suite 3 Production Premium



tamdem 田向 潤氏(左)と出村 拓也氏(右)



木村カエラ "Jasper"
(c) 2008 Columbia Music Entertainment, Inc.

使用製品

- Adobe Creative Suite 3 Production Premium
- Adobe After Effects CS3
- Adobe Photoshop CS3 Extended
- Adobe Illustrator CS3

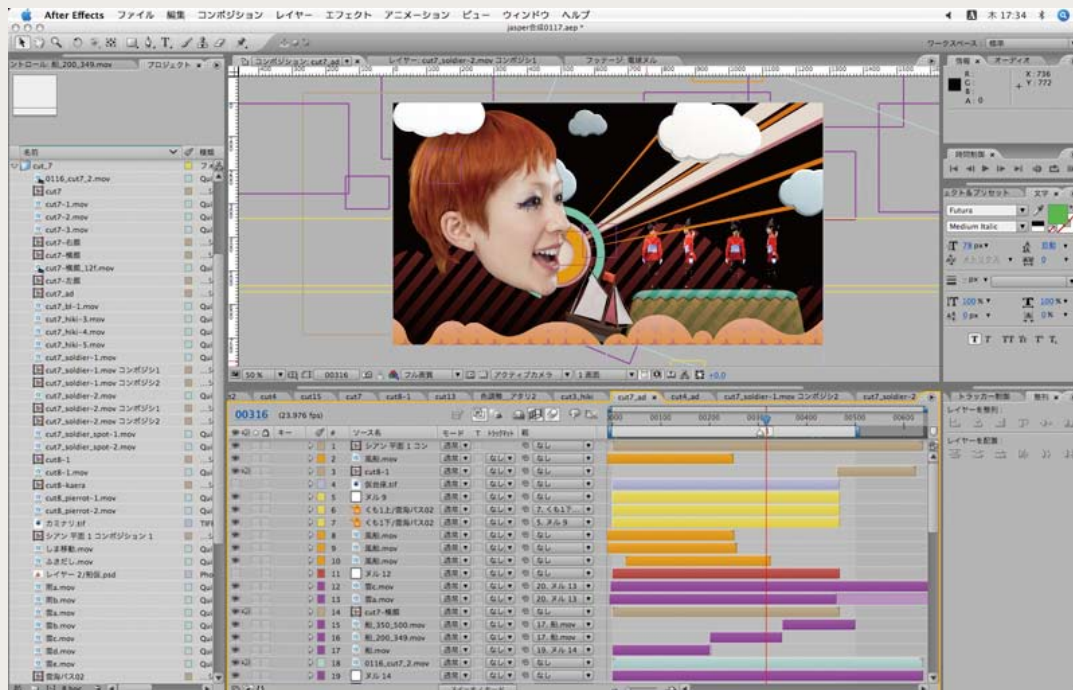
キャビア (<http://www.caviar.ws>) は、映像ディレクターの児玉裕一、田中裕介、黒川静香、中村剛らが所属する映像クリエイター集団。主に TVCM やミュージック・ビデオのディレクションを手掛けている。

入社4年目の出村 拓也氏と2年目の田向 潤氏の両氏は、キャビアのモーショングラフィック・クリエイター。2名で「tamdem」というユニットを組み、ディレクター達の制作を支えている。

出村氏は、京都精華大学の映像学科で映像制作を学び、卒業後キャビアに入社した。映像学科では、撮影、編集、合成と一連のワークフローを学び、当時のバージョン After Effects 4.1、Premiere 5.1 を駆使していた。田向氏は、多摩美術大学のグラフィックデザイン科で学び、卒業後は広告制作会社に入社。広告制作会社では、Adobe® Photoshop® や Adobe® Illustrator® な

どで、主に印刷媒体の広告制作に従事していた。後、静止画ではなく動きのある映像制作に関心を持ったことからキャビアに入社した。それまでに培ったデザインセンスや Photoshop、Illustrator のスキルを活かして、Adobe® After Effects® を操っている。

このようなクリエイターが集まっているキャビアでは、合成・エフェクトソフト After Effects CS3 Professional や Photoshop CS3 や Illustrator CS3 などがワンパッケージになっている Adobe® Creative Suite® 3 Production Premium を制作のコアツールとして環境を整えている。



「Jasper」の1シーン。数多くの素材で構成され、After Effects 上で合成されていることが分かる
 (c) 2008 Columbia Music Entertainment, Inc..

モーショングラフィック・クリエイターの出村氏と田向氏のメインのツールは「直感的に操作しやすい」と賞賛している After Effects。使用プラットフォームは Dual Intel Xeon 搭載の Mac Pro で、Production Premium も Mac 版をインストールしている。また両氏は CINEMA 4D を使用した 3DCG 制作も手掛けており、そのコンポジット作業にも After Effects を役立てている。最近、出村氏と田向氏が手掛けた主な作品には、カシオ G-SHOCK の 25 周年記念イベントのための映像「T.I.M.E.」（2007 年）、アーティスト木村カエラのミュージック・ビデオ「Jasper」（2008 年）などがある。

「Jasper」は、ブラックライトを使って撮影された素材にグラフィック素材を合成したビジュアル的に特徴のある映像で、全編合成加工が施されており、After Effects で完成させている。撮影は、DVCPRO HD で収録され、After Effects では取り込んだ素材のカットつなぎから合成加工まで全て HD 解像度で編集作業を行った。

「Jasper」では実写素材とともに、3D CG 素材も多用されているが、「tamdem」が使用する 3DCG ツール CINEMA 4D との連携にも Production Premium は欠かせない。合成用 3DCG オブジェクトのモデリングでは、CINEMA 4D へ読み込ませるパスの作成に Illustrator が活用されている。このオブジェクトに CINEMA 4D 上でアニメーション付けしたものをアルファチャンネル付きの TIF の連番ファイルに書き出し、After Effects に取り込む。After Effects では、実写の加工とともに、3DCG パーツを実写と合成、微調整などを行い、さらにエフェクトを加えてカットを完成させていく。

両氏は After Effects のプラグインをよく利用するという。光線やきらめき、ストローク、パーティクルなどを生成する Trapcode 社シリーズや、GenArts 社の Sapphire シリーズなど。プラグインの豊富さも、制作にとって欠かせない要素であるという。



“ T.I.M.E.”時間をテーマにした、全編 3DCG で構成された作品
(c) CASIO COMPUTER CO.,LTD.

またよく使う After Effects の機能は、別の素材ファイルからアルファチャンネルを生成してくれるトラックマツト、3D 空間でのアニメーションを設定する 3D レイヤー、キーを選べば豊富なアニメーションのバリエーションを表示してくれるブレインストーム、そして CS3 から追加された新機能でキーの変化をグラフにして表示してくれるグラフエディターなど。

「Photoshop や Illustrator とやりとりの多いワークフローで、Production Premium のソフト間の連携は大変すばらしく、効率性を上げてくれます。特に、実写と 3DCG 素材との組み合わせが多いミュージック・ビデオの制作において After Effects は比較するものがないほど必要不可欠なツールとなっています。」と田向氏は話している。通常、制作のスタート時には Photoshop のレイヤーで合成イメージを決め、After Effects にそのレイヤー構造を保持したまま取り込み、それをガイドとしてシーンを組み立てていくという。

キャビアでは、今年の Adobe Creative Suite 3 Production Premium 発売開始直後の 9 月に従来の製品からアップグレード導入した。「CS3 となって、安定性が増してきました。Intel Mac、Mac OS X との相性もよいです。パペットツールなどの新機能は今後の制作に活用できる可能性を感じていますが、作業を進める上で安定かつ快適に作業ができるという点も CS3 の大きなメリットです。今の満足度はかなり高く、安心して制作に打ち込めます」と出村氏は話している。

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお買い求めください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ (www.adobe.com/jp) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーサービス (tel.0570-067337【ナビダイヤル】) へお問い合わせください。Adobe Open HD 認証編集システムの詳細は、Adobe Pro Video Reseller(www.adobe.com/jp/motion/pvr) へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.com/jp
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

カスタマーサービス (製品に関するお問い合わせ) 0570-067337 (ナビダイヤル)

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-61-3884

受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Premiere Pro および After Effects、Encore、Photoshop、Illustrator は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
© 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

